



祝祭日には



を掲げましょう



キラリ 金山びと

| No.11 |

◎打楽器5重奏のメンバーの皆さん

【世六さん(右:2年) 吉田さん(中央:2年) 伊藤さん(右下:2年) 須藤さん(左下:2年) 栗田さん(左:1年)】

心ひとつに音を奏でる 金山中吹奏楽部 日本アンサンブルコンテスト山形県大会最北地区で金賞受賞

世六亜実さん、吉田麻瑚さん、伊藤梨緒菜さん、須藤咲久愛さん、栗田陽美華さん

12月19日に開催された、全日本アンサンブルコンテスト山形県大会最北地区予選において、金山中学校の吹奏楽部が打楽器5重奏に出場。見事金賞に輝き、県大会へ駒を進めました。



メンバーは世六亜実さん(2年)、吉田麻瑚さん(2年)、伊藤梨緒菜さん(2年)、須藤咲久愛さん(2年)、栗田陽美華さん(1年)の5名。伊藤さんは「地区大会では、演奏中にみんなの心が一つになっているのを実感できた。今まで一番の演奏だった」と地区大会を振り返りました。その言葉に続くように「やりきった。最高だったよね」と4人が口々に話します。コロナ禍のため、結果はそれぞれ自宅で知ること。メンバーが演奏後に感じた手ごたえは、結果となって表れ、金山中は見事金賞を受賞しました。吹奏楽部顧問の武山先生は「ひたむきに練習する姿が受賞に繋がったのだと思う。意見がぶつかる時もあるが、それは全体的に演奏をするため。自分たちで考え自主的に練習する姿勢は、これからも大切にしていきたい」とエールを送ります。メンバー唯一の1年生である栗田さんは「部活動が学校生活の中で一番楽しい。先輩たちが優しく接してくれるから」と照れながら教えてくれました。

県大会に向け、練習も次第にハードに。「一人ができないことはみんなで相談しながら改善し充実した練習をしている」と話す吉田さん。練習を覗いてみると、納得するまで演奏する熱心な姿が見られました。世六さんは「演奏するからには、金山中と会場に伝説を残したい」と力強く県大会への意気込みを語ってくれました。また、副部長でもある須藤さんは「今回の県大会で終わりではなくて、集大成である夏のコンクールに向け、部員みんなで心一つに頑張っていきたい」とこれからについて思いを語ります。取材中、随所に見られたチームワークの良さを武器に、素敵な音色を奏でることを期待しています。

編集 後記

▼成人式が2度の延期を経て、無事に挙行されました。コロナが完全に収束したわけではないので、成人者の皆さんも開催されるのかドキドキしながら年末を過ごしたのではないのでしょうか。既に社会に出て働いている方も、学生の方も、これからの人生で今まで以上にたくさん泣いたり笑ったりすることがあるはずです。辛くなった時は、地元金山で家族と一緒にゆったりとした時間を過ごしてリフレッシュしてください。新成人の皆さんの人生が幸せで健康であることを祈っています！

金山町の人口は、5,098人 (12月末現在)

	男性	2,508人 (-9)
	女性	2,590人 (-12)
	世帯数	1,728世帯

▼12月の異動

出生	0人
死亡	10人
転入	1人
転出	12人